

(2024年9月～2024年11月製作完了分)

## 点字図書受入れ目録 15タイトル

自館製作の点訳は「西宮点訳グループ」・「点訳グループあやめ」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	冊数
点76-1	小説 (2024)	ひみつ はなぞの 秘密の花園	あさい 朝井 まかて	7
ばきん 馬琴は当代一の戯作者・山東京伝の門をたたき、戯作の道に踏み出した。人気作者になるが、馬琴は滝沢家再興の夢を捨てず、締切に追われながら家計簿をつけ、庭の花園で草花を丹精し…。				

点76-2	小説 (2024)	おうこく ゴミの王国	あきくら ひろかげ 朝倉 宏景	4
くさかべあさひ 片付けたい男・日下部朝陽は、ゴミ清掃職員。ある日、隣に住む同年代の佐野友笑の部屋がゴミで溢れかえっていることに気づく。物を捨てられない友笑は、ゴミを集めてはアート作品を作っていて…。				

点76-3	小説 (2023)	ばんしよい せんせいきゆうしんろく 番所医はちきん先生休診録 6 わな こいぶみ 罌の恋文	いかわ こうしろう 井川 香四郎	4
はったにしき 番所医の八田錦のもとへ「酒呑童子」と名乗る謎の人物から恋文が届き始めてひと月。錦が、指定された場所に出向いてみると、そこにいたのは若旦那風の男をいたぶるならず者たち。はたして差出人は…。				

点76-4	小説 (2024)	え にとがにんとうぼうでん 江戸咎人逃亡伝	いとう じゅん 伊東 潤	5
さ ど きんぎんざん 罪人となり地獄の島・佐渡金銀山に送られた壱之助、江戸吉原から足抜けした大見世の花魁・春日野、はなちめしうど 放召人となった罪人の鷹匠を追うマタギ…。江戸の闇を描く逃亡短篇集。				

点76-5	小説 (2023)	せんごくぶしやうでん にしにほんへん 戦国武将伝 西日本編	いまむら しょうご 今村 翔吾	4
ひでよし もうり ちょうそがべ しまづ くろだかんべえ まつながひさひで たちばなむねしげ きんま ちゆうごく しこく きゆうしゅう 秀吉、毛利、長宗我部、島津、黒田官兵衛、松永久秀、立花宗茂…。近畿・中国・四国・九州の武将24人の、胸が熱くなる、くすりと笑える、ほろりと泣ける逸話を描く掌編小説集。				

点76-6	小説 (2023)	せんごくぶしやうでん ひがしにほんへん 戦国武将伝 東日本編	いまむら しょうご 今村 翔吾	4
のぶなが いえやす しんげん けんしん さとみよしひろ ながのなりまさ つがるためのぶ きなだのぶゆき ほっかいどう とうほく かんとう ちゆうぶ 信長、家康、信玄、謙信、里見義弘、長野業正、津軽為信、真田信幸…。北海道・東北・関東・中部地方の武将23人の、ときに笑え、ときに泣ける、心震えるエピソードを描いた掌編小説集。				

点76-7	小説 (2023)	ひとしが 人探し	えんどう ひでき 遠藤 秀紀	4
-------	--------------	-------------	-------------------	---

歩き方の特徴から個人を特定する技術「歩容解析」。そのプログラム「ラミダス」を開発した能勢恵には、かつて自分の母親を殺し、自分を凌辱した男を探し出す、という目的があり…。

点76-8	小説 (2024)	そしてだれ 誰かがいなくなる	しもむら あつし 下村 敦史	4
-------	--------------	-------------------	-------------------	---

大雪の日、大人気作家の御津島朱季が細部までこだわった新郎のお披露目会が行われた。招かれたのは作家、編集者、文芸評論家、そして名探偵。最初は和やかな雰囲気だったが、次第に雲行きが怪しく…。

点76-9	評論集 (2023)	日本のくろ 黒い聖域	すずき ともひこ 鈴木 智彦ほか	5
-------	---------------	---------------	---------------------	---

権力に忖度し、「報道しない自由」という安全地帯に逃げ込んだマスメディア。ワクチンと製薬マネー、官房機密費、カジノ利権、企業の内部留保など、マスメディアと権力の合作とも言える「黒い聖域」の内情を伝える。

点76-10	小説 (2024)	はる 春のとなり	たかせ のいち 高瀬 乃一	3
--------	--------------	-------------	------------------	---

夫の仇を討つため江戸へやってきた奈緒と、その養父で医者文二郎。ふたりが深川で営む薬屋に、芸者・捨丸が惚れ薬を作ってほしいとやってきた。相手は、なんと有名な本草学者で…。

点76-11	小説 (2023)	やま 山ぎは少し明かりて	つじどう 辻堂 ゆめ	5
--------	--------------	-----------------	---------------	---

佳代、千代、三代の三姉妹が暮らす瑞ノ瀬村にダム建設計画の話が浮上する。愛する村が、湖の底に沈んでしまう。佳代は愛する夫・孝光とともに、故郷を守ろうと奔走するが…。

点76-12	小説 (2024)	こまどりたちがうた 歌うなら	てらち 寺地 はるな	3
--------	--------------	-------------------	---------------	---

親戚の伸吾が社長を務める小さな製菓会社に転職した葉子。サービス残業や女性スタッフによるお茶くみなど、会社の中の「見えないルール」が見過ごせず、声をあげていくが…。

点76-13	小説 (2024)	ふしちょう 不死鳥	にしむら けん 西村 健	6
<p>新宿・ゴールデン街のバー「オダケン」のマスターが請け負ったのは連続放火事件の現場に赴いての動画撮影。一方、福岡・中洲のとんこつラーメン屋台「ゆげ福」の店主は知人の依頼で家出娘を追って東京へ…。</p>				

点76-14	小説 (2024)	うみ おぼ みどりの海を覚えている	はせつき もとや 馳月 基矢	2
<p>職場でトラブルを起こし、居場所を失った奈波は、五島列島の祖母のもとで過ごすことに。そこで奈波はどこか懐かしい少年と出会い…。五島列島を舞台に描く、失われたものにもう一度出会う現代ファンタジー。</p>				

点76-15	小説 (2024)	そうものがたり れんげ荘物語 8 わ しあわせの輪	むれ 群 ようこ	2
<p>大手広告代理店を早期退職したキョウコは、貯金を切り崩し、月10万円の暮らし。老後に少々不安を感じながらも、日常の暮らしに喜びを感じながら、今日も楽しくのんびり生きています。「れんげ荘」シリーズ第8弾。</p>				

点字雑誌	<ul style="list-style-type: none"> <li>*天声人語(朝日新聞より) 全1巻</li> <li>*女の気持ち・男の気持ち(毎日新聞コラムより) 全1巻</li> <li>*日経コラム抜粋版 全1巻</li> <li>*人生案内(読売新聞より) 全1巻</li> <li>*ひととき(朝日新聞コラムより) 全1巻</li> <li>★購入 点字ジャーナル</li> <li>★購入 生活情報誌ライト&amp;ライフ</li> </ul>
寄贈点字本・雑誌	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ふれあいらしんばん (発行:内閣府政府広報室)</li> <li>*SSK 盲ろう者の専門誌 コミュニカ(発行:日本盲人社会福祉施設協議会)</li> <li>*盲ろう者とともに歩む 全国盲ろう者協会30年史 (発行:社会福祉法人 全国盲ろう者協会)</li> <li>*私たちの税金 令和6年度版(発行:国税庁 広報広聴室)</li> </ul>

**録音(カセット)図書受入れ目録 | タイトル**  
 自館製作の音訳は「テープライブラリーにしのみや」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	巻数
カ76-1	小説 (2024)	<small>え どもとがにんとうぼうでん</small> 江戸咎人逃亡伝	<small>いとう じゅん</small> 伊東 潤	7
<p>罪人となり地獄の島・<small>きど きんぎんざん</small>佐渡金銀山に送られた<small>もくのすけ</small>杵之助、江戸吉原から足抜けした<small>えどよしわら</small>大見世の<small>おおみせ</small>花魁・<small>おいらん</small>春日野、<small>はなちめしうど</small>放召人となった罪人の<small>たかじょう</small>鷹匠を追うマタギ…。江戸の間を描く逃亡短篇集。</p>				
広報誌	*令和6年度市営住宅だより 秋号(発行:西宮市営住宅管理センター)			

**録音(デイズ)図書受入れ目録 25タイトル**  
 自館製作の音訳・編集は「テープライブラリーにしのみや」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	時間
デ76-1	小説 (2024)	さい とびら 22歳の扉	あおば ゆう 青羽 悠	8:54
<p>きょうと 京都の大学に入学した<sup>たなべさく</sup>田辺朔。漫然と授業を受け、バイトをしているうちに1回生前期は終わってしまった。後期に入り、旧文学部棟の地下でひっそりと営業されているバーのマスター<sup>えびすがわ</sup>夷川と出会い、朔の大学生活は一変した…。</p>				
デ76-2	小説 (2024)	がんびん 贗品	あさざわ えい 浅沢 英	9:04
<p>亡き父の友人だという<sup>やまい</sup>山井からの提案。それは、<sup>ひがしおおさか</sup>東大阪の施設にある本物の「ピカソ」を、一時的に持ち出しデータ化して、本物そっくりの<sup>がんさく</sup>贗作をつくり、売るというもの。多額の借金を抱えていた<sup>さむら</sup>佐村はこの危険な賭けに乗り…。</p>				
デ76-3	小説 (2024)	え ど とが にん どう ぼう でん 江戸咎人逃亡伝	いとう じゅん 伊東 潤	9:51
<p>罪人となり地獄の島<sup>さど きんぎんざん</sup>・佐渡金銀山に送られた<sup>もくのすけ え ど よしわら</sup>壱之助、江戸吉原から足抜けした<sup>おおみせ おいらん かすがの</sup>大見世の花魁・春日野、<sup>はなちめしうど</sup>放召人となった罪人の<sup>たかじょう</sup>鷹匠を追うマタギ…。江戸の間を描く逃亡短篇集。</p>				
デ76-4	小説 (2024)	もうじゅう 猛獣ども	いのうえ あれの 井上 荒野	7:50
<p>「姦通」していた男女が熊に殺された…。閑静な別荘地で起きた事件は、愛に傷ついた管理人の男女と、6組の夫婦に何をもたらしたのか。愛の行方の複雑さを描く。</p>				
デ76-5	小説 (2024)	あ け ち きょう す け ほん そう 明智恭介の奔走	いまむら まさひろ 今村 昌弘	7:58
<p><sup>しんこう</sup>神紅大学ミステリ愛好会会長・明智恭介。彼ははたしてミステリ小説のような謎に出合えるのか…。「<sup>しじ</sup>屍人荘の殺人」以前、<sup>はむらゆずる</sup>葉村譲とともに挑んだ事件を描く短編集。</p>				
デ76-6	小説 (2024)	ろくめい かん はな ち 鹿鳴館の花は散らず	う え ま つ み ど り 植松 三十里	8:27
<p><sup>くげ</sup>公家の娘として生まれ、若くして夫と死別した<sup>ながこ</sup>榮子は、侯爵、外交官の<sup>なべしまなおひろ</sup>鍋島直大と再婚するが…。「鹿鳴館の花」と讃えられながらも幾多の困難を乗り越え、看護の現場に参加し、赤十字活動を支えた貴婦人の気高い生涯を描く。</p>				

デ76-7	小説 (2024)	紺碧の海 こんぺき うみ	梶 よう子 かじ ようこ	8:04
<p>八丈島生まれの留吉は、同郷の半右衛門に憧れていた。半右衛門の誘いで鳥島へ渡ると…。絶海の無人島で鳥を撲殺し、金を生み出す島へと変えた男、玉置半右衛門の壮絶な人生を描く。</p>				

デ76-8	小説 (2024)	ゆうびんの父 ちち	門井 慶喜 かどい よしのぶ	14:58
<p>郵便制度の祖と呼ばれた前島密は農家の生まれで後ろ盾がなく、なかなか世に出ることができなかった。彼は道をどう切り開いたのか。一枚の紙片が世界につながる「ゆうびん」を生んだ男の物語。</p>				

デ76-9	外国文学 (2024)	恐怖を失った男 きょうふ うしな おとこ	M.W.クレイヴ ン	16:53
<p>頭の怪我によって恐怖を感じなくなり、連邦保安官を退任したベン。彼はかつての上司から行方不明の娘を捜索するよう依頼される。死地へ向かうことを躊躇しないベンは、不倶戴天の敵ジェンと事件を追うが…。</p>				

デ76-10	大衆演芸 (2024)	信念を貫き、粋な人生を歩め しんねん つらぬ いき じんせい あゆ ビートたけしの言葉 ことば	桑原 晃弥 くわばら てるや	2:51
<p>芸人は「カッコいい」生き方をしろ…。下積み時代に大量の読書とネタづくりを続け、漫オブームの中にあって「次に何をすべきか」を考え続けたビートたけし。俳優や映画監督としても成功した彼の、本質を見抜く言葉を紹介する。</p>				

デ76-11	ヨーロッパ史 (1992)	イギリス (読んで旅する世界の歴史と文化) よ たび せかい れきし ぶんか	小池 滋(監修) こいけ しげる	20:45
<p>「イギリスの歴史と地理」、「イギリスの文化」、「イギリスの生活と風俗」の全3部からイギリスを読み解く一冊。(※古いカセットテープをデジタイズ)</p>				

デ76-12	小説 (2024)	ミチノオク	佐伯 一麦 さえき かずみ	9:54
<p>故郷東北を再発見する旅で私小説作家が会う、天変地異の歴史と、そこで生きる人の心のオク。様々な人生の曲折を描く小説集。「西馬音内」「貞山堀」「飛島」など、全9編を収録。</p>				

デ76-13	小説 (2024)	ときわだんち まじん 常盤団地の魔人	さとう あつし 佐藤 厚志	5:03
<p>団地の僕たちは、どうしてあんなに馬鹿で痛くてゴキゲンだったんだろう。宿敵・管理人との対決、雑木林のひょうたん池の謎…。気弱な少年・蓮が、悪ガキの世界へ踏み出す小さな冒険の一步。</p>				

デ76-14	ヨーロッパ史 (1993)	フランス (読んで旅する世界の歴史と文化)	しみず とおる 清水 徹ほか (監修)	23:27
<p>「フランスの国家と人々」、「フランスの歴史と地理」、「フランスの文化」、「フランスの生活と風俗」の全4部からフランスを読み解く一冊。(※古いカセットテープをデジタイズ)</p>				

デ76-15	料理 (2024)	しょくどう う がいしょくそだ 食堂生まれ、外食育ち	しんぼ のぶなが 新保 信長	8:53
<p>お店の雰囲気や接客、店主のキャラクター、客の会話や振る舞い、ちょっとした事件…。大阪・堂島の食堂が実家で、外食歴50年超の著者が、外食ならではの出来事や人間模様について綴る。</p>				

デ76-16	小説 (2024)	たったひとつの冴えない復讐	たけよし ゆうすけ 竹吉 優輔	11:21
<p>特進Aクラスに編入した和泉七生。ある日QRコードが黒板に貼られ、読み込むと「お前たちの去年のいじめを告発する」という脅迫動画が。告発までの期間は1カ月。唯一の部外者である七生はいじめの調査を開始する。</p>				

デ76-17	小説 (2024)	わたしのカレーな夏休み	たにくち まさみ 谷口 雅美	3:47
<p>食いしん坊で鼻がいい小5のハルカは、夏休みに大阪でカレー屋を営む叔父のもとへ。夏休みの自由研究として、商店街に住む少年たちとグルメイベントに出すお店のカレーの新メニューを考えることになり…。レシピも掲載。</p>				

デ76-18	小説 (2024)	わかれ道の先 (藍千堂菓子噺 [6])	たまき やまと 田牧 大和	4:40
<p>傲慢な振る舞いが目に余り、お系に解雇された百瀬屋の菓子職人が逆恨みし、仕返しに読売屋へネタを売る。百瀬屋が藍千堂の菓子を盗んだ！江戸の巷で話題になるほどの騒ぎを、百瀬屋と藍千堂はどう収めるのか？</p>				

デ76-19	東洋文学 (2024)	ソヨンドン <sup>ものがたり</sup> 物語	チョ・ナムジュ	6:33
警備員になったユジョンの父のその後は？ 一人デモするアン・スンボクの動機とは？ 架空の町のマンションを舞台に、不動産バブル、過剰な教育熱、格差に翻弄される住民たちの喜びと悲しみを描いた連作小説。				
デ76-20	小説 (2024)	あくろす ざ ゆにばーす Across the Universe	はた たけひこ 秦 建日子	7:14
その日、東京 <sup>とうきょう</sup> 警視庁の管轄で、3人の被害者が発見された。2人は変死体で、もう1人は記憶喪失で。渋谷 <sup>しぶや</sup> ハチ公前 <sup>こうまえ</sup> 爆弾テロ事件から3年。世界は、ついに、変わる…。3部作の完結編。				
デ76-21	小説 (2024)	ふるほんしよくどう しんそうかいてん 古本食堂 新装開店	はらだ か 原田 ひ香	6:12
珊瑚 <sup>さんご</sup> (70代) は急逝した兄の跡を継いで、神保町 <sup>じんぼうちよう</sup> で小さな古書店を営んでいる。親戚の美希喜 <sup>みきき</sup> (20代) が右腕だ。人生を楽しく豊かにしてくれる本の魅力が沢山つまった物語。				
デ76-22	小説 (2024)	フェイク・マッスル	ひの えいたろう 日野 瑛太郎	8:22
たった3カ月のトレーニングで、人気アイドル大峰 <sup>おおみね</sup> 颯太 <sup>そうた</sup> がボディビル大会で上位入賞。SNS上では「偽りの筋肉だ」と炎上してしまう。新人記者・松村 <sup>まつむら</sup> 健太郎 <sup>けんたろう</sup> は潜入取材を命じられ、大峰がオープンさせたジムへ入会するが…。				
デ76-23	小説 (2024)	とうきょう 東京ハイダウェイ	ふるうち かずえ 古内 一絵	9:35
東京 <sup>とうきょう</sup> ・虎ノ門 <sup>とらのもん</sup> の企業に勤める桐人 <sup>きりと</sup> は、「真面目な働き方」を馬鹿にされた日の昼休み、同僚の璃子 <sup>りこ</sup> が軽快に歩いているのを見かけて…。都会に生きる人々が抱える心の傷と再生を描いた連作短編集。				
デ76-24	小説 (2024)	きょうとてらまちさんじょう 京都寺町三条のホームズ 21 メランコリックな異邦人 <sup>いほうじん</sup>	もちづき まい 望月 麻衣	6:22
10月から京都 <sup>きょうと</sup> の大学院の修士課程に通うというイーリンは、「蔵 <sup>くら</sup> 」でバイトをすることに。父からある“宿題”を出されていたイーリンだが、バイトの日々を通して、自らの出生の秘密にたどり着くことになり…。				

デ76-25	小説 (2023)	<small>きっこうじゅうこつ</small> <b>亀甲獣骨</b> <small>そうてんゆうげん くも み</small> <b>蒼天有眼 雲ぞ見ゆ</b>	<small>やまもと いちりき</small> <b>山本 一力</b>	8:31
<small>きんせき</small> 金石学者の父の後を継いだ21歳の <small>ていじん</small> 丁仁は、生薬「 <small>りゅうこつ</small> 竜骨」に神秘的な図形などが刻まれていることを耳にし…。その真実をめぐって繰り広げられる幻想知的 <small>ぼうげんたん</small> 冒険譚。				

<b>寄贈広報誌ほか</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*にってんデイジーマガジン(月刊) 内容:「ブックウェーブ」「月刊文藝春秋」「ホームライフ」「医学研究」等</li> <li>*京まる(月刊) 内容:「はなのぼう」「本屋さんの新刊書」「声の京都」「京都観光Navi」</li> <li>*政府広報誌: 明日への声、厚生</li> <li>*令和5年度 食料・農業・農村白書(発行:農林水産省)</li> <li>*私たちの税金 令和6年度版(発行:国税庁 広報広聴室)</li> <li>*令和6年度市営住宅だより 秋号(発行:西宮市営住宅管理センター)</li> </ul>
----------------	--